

PRESS RELEASE

<報道関係各位>

2026年2月22日  
株式会社サンリオエンターテイメント

ハーモニーランド35周年の節目に“エンタメリゾート化”と連動し次世代のまちづくりへ  
サンリオエンターテイメントと大分県日出町が  
“ハーモニータウン形成”に向けた包括連携協定を締結  
締結式にはハローキティも登場し、笑顔あふれるセレモニーに！

テーマパーク「サンリオキャラクターパーク ハーモニーランド」（大分県速見郡日出町）を運営する株式会社サンリオエンターテイメント（本社：東京都多摩市、代表取締役社長：小巻亜矢）は、ハーモニーランドの“エンタメリゾート化”を見据えて、大分県日出町（町長：安部徹也）と、2026年2月22日（日）に、ホテル グランドメルキュール別府湾リゾート&スパで、次世代のまちづくりへ向けた「ハーモニータウンの形成に関する包括連携協定」の締結式を執り行いました。



ハーモニーランドは、1991年4月の開園以来、日出町のシンボリック的存在として町民の皆様に親しまれてきました。2016年には、サンリオエンターテイメントと日出町の間で観光や定住促進を目的とした基本合意が締結され、「ハローキティとくらすまちひじ」のキャッチフレーズのもと、協働によるまちづくりに取り組んできました。

さらに2024年12月には、ハーモニーランドを、観光・地域資源・体験価値を融合させた“滞在型エンターテインメント拠点”へと進化させる“エンタメリゾート化”を含む包括連携協定を大分県と締結。以降も大分空港の愛称を「大分ハローキティ空港」とするなど、県内全体での協業を強化し、昨年12月には“エンタメリゾート化”の基本構想を発表いたしました。

そしてこの度、“エンタメリゾート化”をさらに具体化する取り組みとして、日出町と新たな包括連携協定を締結。観光振興・地域活性・定住支援・SDGsの推進など10項目にわたる包括連携を明文化し、地域とともに未来を創る新たなフェーズが始動します。

締結式には、スペシャルゲストとしてサンリオの人気キャラクター「ハローキティ」も出席。協定式の最後には、両代表から地域への想いと今後の展望が語られました。日出町 安部徹也町長は、「ハーモニーランドとは開園以来深い関わりがある中、リゾート化をきっかけに相互に連携を強化するためにも、包括連携協定を結ぶ運びとなりました。ハーモニーランドを訪れる皆様を日出町の周遊、食へとつなげることでハーモニータウンの形成に寄与することを確認しております。」と語りました。また、サンリオエンターテイメントの代表取締役社長 小巻亜矢は、「ハーモニーランドが35周年をむかえるタイミングで包括連携協定を結ぶたのはありがたく背筋の伸びる思いです。35周年のメッセージ“ありがとうを未来へ”の言葉と共にこれまでお世話になった日出町へ恩返しをしていきたい。」と述べ、日出町との今後の連携に対する期待を表しました。

今後は、ハーモニーランド開園35周年の節目に、観光と暮らしが交差する「ハーモニータウン」としてのまちづくりを本格化していく予定です。

■連携事項：

- (1) 町民のウェルビーイングの向上及びシビックプライドの醸成に関すること
- (2) 地域の活性化に関すること
- (3) ハーモニーランドの誘客に関すること
- (4) ハーモニーランドの将来的なエンタメリゾート化に向けた観光基盤の整備に関すること
- (5) 日出町内の周遊型観光の促進に関すること
- (6) 若者の移住定住の促進に関すること
- (7) 地産地消の推進に関すること
- (8) SDGsの推進に関すること
- (9) 女性活躍及び子ども・若者活躍の推進に関すること
- (10) 大学及び企業等との連携に関すること

■締結式の様子



※画像素材ご掲載の際は、必ずコピーライトの記載をお願いいたします。  
© 2026 SANRIO CO., LTD. TOKYO, JAPAN 著作 株式会社サンリオ